



産業廃棄物処理計画書

2023年 5月 26日

都道府県知事
大野 元裕 殿

提出者

住 所 埼玉県蓮田市大字黒浜3469-1
氏 名 株式会社 エルビー
代表取締役社長 畑中晴彦
電話番号 048-769-1133

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 エルビー (本社・蓮田工場)
事業場の所在地	埼玉県蓮田市大字黒浜3469-1
計画期間	2023年 4月 1日から2024年 3月 31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	清涼飲料、果汁飲料、乳飲料の製造及び販売
② 事業の規模	売上高 74.28億円 (2022年度チルド実績)
③ 従業員数	204名 (本社・蓮田工場2023年5月実績)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	製品製造 → 動植物性残渣→委託処理→飼料・堆肥化 及び出荷 廃酸→委託処理→中和・飼料化 廃プラスチック→委託処理→焼却・分別・破碎・固形燃料化 金属くず→委託処理→分別・破碎・固形燃料化 汚泥→委託処理→発酵→堆肥化 廃油→委託処理→煤煙・中和

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

【管理体制図】

蓮田工場長 → 廃棄物管理責任者

- 製造グループ
- 業務グループ
- 品質管理グループ
- 技術グループ
- 物流統括部
- 調達部
- 人事総務部
- 商品開発部
- 品質保証部

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙1. のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙1. のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 蛍光灯、乾電池、水銀使用品、ガラス、廃プラスチック、汚泥、混合廃棄物、廃酸と分けを実施。その他有価物として排出。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物として管理しているが、分別を徹底して金属として有価物化を実施する

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙2. のとおり		

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙2. のとおり	
※事務処理欄		

別紙

①産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

※単位：t

【前年度（2022年度）実績】							
現状	廃棄物の種類	動植物性残渣	廃酸	廃プラスチック	汚泥	廃油	金属くず
	排出量（単位：t）	1040.9	72.2	53.1	44.2	0.1	0.4
	（これまでに実施した取り組み）	分別を実施することで有価物として再資源化					
【目標（2023年度）実績】							
目標	廃棄物の種類	動植物性残渣	廃酸	廃プラスチック	汚泥	廃油	金属くず
	排出量（単位：t）	1030.5	71.5	52.5	43.7	0.1	0.3
	（これまでに実施した取り組み）	分別を実施することで有価物として再資源化					

②産業廃棄物の処理の委託に関する事項

※単位：t

【前年度（2022年度）実績】							
現状	廃棄物の種類	動植物性残渣	廃酸	廃プラスチック	汚泥	廃油	金属くず
	全処理委託量	1040.9	72.2	53.1	44.2	0.1	0.4
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量	1040.9	72.2	21.3	44.2	0.1	0.4
	認定熱回収業者への処理委託量				31.8		
	認定熱処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
	（これまでに実施した取り組み）	各委託処理場への視察の実施					
【目標（2023年度）実績】							
目標	廃棄物の種類	動植物性残渣	廃酸	廃プラスチック	汚泥	廃油	金属くず
	全処理委託量	1030.5	71.5	52.5	43.7	0.1	0.3
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量	1030.5	71.5	21.1	43.7	0.1	0.3
	認定熱回収業者への処理委託量				31.5		
	認定熱処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
	（これまでに実施した取り組み）	各委託処理場への視察の実施					

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。